

別添



再エネ 100%への取り組み

株式会社千代田設備

建設業（設備工事業）

1. 目的及び中長期目標

当社は、再生可能エネルギーの活用により、深刻化する気候変動問題への対応と持続可能な社会への変革の一助となるため、2030 年度までに自ら使用する電力の 100%を再生可能エネルギーで賄う。

2. 2022 年度実績

事業所名	項目	2022 年度	2021 年度
本社	総消費量 (kWh)	20,548	20,264
	再エネ電力量 (kWh) (再エネ率)	7,210 (35.1%)	7,574 (37.4%)
	CO2 排出量 (kg)	6,095	5,799
両川営業所	総消費量 (kWh)	78,138	77,145
	再エネ電力量 (kWh) (再エネ率)	78,138 (100.0%)	0 (0.0%)
	CO2 排出量 (kg)	0	35,255
合計	総消費量 (kWh)	98,686	97,409
	再エネ電力量 (kWh) (再エネ率)	85,348 (86.5%)	7,574 (7.8%)
	CO2 排出量 (kg)	6,095	41,055

【実施した取り組み】

電力調達プランの見直しを実施。電源構成における再エネ比率が低い両川営業所の電力調達先及び電力メニューを、自社発電所由来かつ RE100 対応の再エネメニュー及び事業者に変更した結果、大幅な CO2 排出量の削減が実現できた。本社についても見直しを行ったが、電力契約内容により変更はかなわなかった。

3. 2023 年度計画

事業所名	項目	2023 年度
本社	総消費量 (kWh)	20,548
	再エネ電力量 (kWh) (再エネ率)	13,879 (67.5%)
	CO2 排出量 (kg)	3,048
両川営業所	総消費量 (kWh)	78,138
	再エネ電力量 (kWh) (再エネ率)	0 (0%)
	CO2 排出量 (kg)	35,709
合計	総消費量 (kWh)	98,686
	再エネ電力量 (kWh) (再エネ率)	13,879 (14.1%)
	CO2 排出量 (kg)	38,757

2022 年 4 月より両川営業所は再エネ 100%電力となったが、昨今の高騰する電力事情により、一年間の契約のみで見直しを余儀なくされ、2023 年 4 月からは旧来の電力調達プランに戻る予定。本社についても見直しを実施し、こちらの方はかろうじて再エネ 50%の電力調達プランが確保できた。今後も電力事情を注視しながら電力調達プランの変更を行っていく予定である。

以上